

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	総務部総務課長 藤井 徹	電話番号	0852-22-5011
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	専修学校進学者特別支援事業		
目的	(1) 対象	専修学校（専門課程）に進学する高校生等	
	(2) 意図	奨学金を貸与することにより、修学の機会均等を図る。	
事業概要	島根県育英会が行う専修学校進学者特別支援事業の事務費を補助する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適格者に対する貸与率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 貸与者数/貸与することが適当な申請者数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	414	414
うち一般財源 (千円)	414	414

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度以降、県から島根県育英会への貸し付けなし。貸し付け返還に必要な事務費を補助。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

貸し付けにより、専修学校進学希望者の進学機会確保に貢献した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
特になし
- ②困っている状況が発生している「原因」
特になし
- ③原因を解消するための「課題」
特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後も島根県育英会において適正に事務が行われるよう補助を継続する。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）